

令和4年度中高連携学力向上推進事業

「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」“Online” プレ大会 実施要項

岩手県教育委員会事務局学校教育室

1 趣旨

新学習指導要領における三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の更なる育成を目指し、外国語における複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生徒の英語発信力の向上に資する。11月6日（日）に開催予定の岩手県「Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」“Online”に備え、オンライン形式の練習機会を設け、機器の使用に慣れることを目指す。

2 主催

岩手県教育委員会

3 共催

岩手県高等学校教育研究会英語部会

4 期日

令和4年10月2日（日） 8:45～16:45（予定）

5 開催形態

Zoomによるオンライン開催（一般社団法人全国高校英語ディベート連盟（HENDA）アカウント利用）

6 時程（予定）

8:45 入室

8:45～ 9:00 ジャッジミーティング

9:00～ 開会式

9:30～11:30 ラウンド1

11:30～12:30 昼食、メイクフレンズタイム

12:30～14:30 ラウンド2

14:30～16:30 ラウンド3

16:30～16:45 閉会式

7 参加条件（「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」“Online”の参加条件に準じるもの）

（1）岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。

（2）次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は1チーム2名までとし、各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能）

ア 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）

イ 英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）

ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒

※ 全国大会においては試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大2名とも出場可能であること。

（3）出場校の英語教員が引率者となること。

8 チーム構成

- (1) 1校から参加できるのは原則2チームまでとする。ただし、大会運営委員で試合数等を考慮し、その限りでない場合もある。その場合、大会運営委員から追加チームの対応可能な学校に依頼する。
- (2) 1チームの登録選手は3名から6名とする。各試合のチェアパーソン（司会）は、原則として肯定側チームの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
- (3) 各試合への出場選手は4名を基本とし、試合ごとの選手の入れ替えは可能とする。
（※3名で出場する場合には、コンストがサマリーを兼ねることができる）

9 引率

- (1) 引率教員は1チームにつき1名とし、当日は試合のジャッジを担当することを原則とする。
- (2) 参加校に所属する外国語指導助手等は、試合のジャッジを担当するものとする。

10 論題（全国大会における論題に準ずる）

Resolved: That the Japanese Government should abolish the mandatory retirement age systems.

日本政府は、定年制を廃止すべきである。是か非か。

11 日程及びオンライン接続に係る詳細

参加校に後日通知する。

12 競技規則

基本的には第17回全国高校生英語ディベート大会“Online”実施要項に記載の競技規則に準じるが、機器の使用に慣れることが本プレ大会開催の趣旨であることを踏まえる。新型コロナウイルス感染症に関わる状況、参加校数等を考慮し、変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

13 プレ大会申込方法

- (1) 県立高等学校の場合

「全県フォルダ」の「03_県教委提出【保存期限1年】」>「C2_学校教育室_学力向上担当」>「【R040914期限】Kenji Cup プレ大会参加申込」に参加申込書【様式2】を9月14日（水）までに提出すること。

- (2) 盛岡市立高等学校、私立高等学校の場合

下記担当者宛てメールにて参加申込書【様式2】を9月14日（水）までに提出すること。

14 その他

オンライン実施に係る連絡事項等については、参加申込校に別途通知する。なお、試合に係るエビデンスの共有についても、連絡事項等の内容に従う。

担 当

学力向上担当

指導主事 石村 隆彦

TEL: 019-629-6162 FAX: 019-629-6144

Email: takahiko-ishimura@pref.iwate.jp